

2025年8月 全国法定伝染病 発症、死亡統計表

病 名	発症数	死亡数 ¹
甲乙丙類総計	776,879	1,921
甲乙類伝染病合計	434,853	1,919
ペスト	0	0
コレラ	5	0

SARS	0	0
エイズ ²	3,754	1,402
ウイルス性肝炎 ³	130,104	227
A型肝炎	1,311	0
B型肝炎	109,355	37
C型肝炎	16,138	189
D型肝炎	13	0
E型肝炎	2,712	1
未分類型	575	0
ポリオ	0	0
高病原性鳥インフルエンザ人感染	0	0
麻疹	94	0
流行性出血熱	122	0
狂犬病	32	27
流行性乙型脳炎（日本脳炎）	36	3
デング熱	1,702	0
炭疽	106	1
細菌性・アメーバ性赤痢	3,686	0
肺結核 ⁴	54,614	246
腸チフス・パラチフス	647	0
流行性脳脊髄膜炎	8	0
百日咳	1,774	0
ジフテリア	0	0
新生児破傷風	0	0

猩紅熱	1,884	0
ブルセラ症	6,137	1
淋病	10,477	0
梅毒	54,387	4
レプトスピラ症	156	0
住血吸虫症	2	0
マラリア ⁵	420	1
鳥インフルエンザ（H7N9）人感染	0	0
新型コロナウイルス感染症 ⁶	164,625	7
サル痘 ⁷	81	0
丙類伝染病合計	342,026	2
流行性感冒（インフルエンザ）	85,606	0
流行性耳下腺炎	6,009	0
風疹	51	0
急性出血性結膜炎	2,044	0
ハンセン病	23	0
発疹チフス	145	0
黒熱病（カラアザール）	33	0
包虫症（エキノコックス症）	370	0
フィラリア症	0	0
その他感染性下痢	144,550	2
手足口病	103,195	0

注：発症数と死亡者数は最終審査日に基づいて統計を行う。

1 伝染病ネットワーク直接報告システムを通して報告された死亡数は中国伝染病死因順位の根拠としない。

2 エイズの死亡数は、これまでに報告された患者のうち当月中に報告された全死因の死亡者数である。

3 ウィルス性肝炎の発症数、死亡数は、A型肝炎、B型肝炎、C型肝炎、D型肝炎、E型肝炎、未分類型肝炎の報告発症数、死亡数の合計である。

4 2019年5月1日より「結核性胸膜炎」は「肺結核」として分類統計され、「その他法定管理及び重点監視伝染病」の中では報告しない。

5 報告されたマラリア症例はすべて輸入症例である。

6 新型コロナウイルス感染症の死亡例には、新型コロナウイルス感染症による呼吸不全の死亡例および基礎疾患と新型コロナウイルス感染症の合併による死亡例を含む。

7 2023年9月20日よりサル痘が乙類伝染病としての管理に加えられた。81症例のうち78症例は本土感染、3症例は輸入症例である。78の本土症例ではクレードIbが2症例とクレードIIbが76症例。輸入症例ではクレードIbが1症例とクレードIIbが2症例。